

STAGE+を楽しむ(218)(HP 掲載)

— 《クリスマスの挽歌》 —

1. 始めに

前報(217)に引き続き、STAGE+の《クリスマスの挽歌》のマルコンの編纂による《クリスマスの挽歌》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のマルコンの編纂による《クリスマスの挽歌》の演奏を選びました。

アンドレア・マルコンの編纂による《クリスマスの挽歌》

聖マルティン教会、バーゼル 2024 年

収録日: 2024 年 12 月 2 日

古楽演奏のスペシャリストであるアンドレア・マルコンが芸術監督を務め、スイスを拠点に活動をしているラ・チェトラ・バロック・オーケストラ・バーゼルとラ・チェトラ・ヴォーカル・アンサンブルからクリスマス・シーズンにぴったりの贈り物をお届けいたします。既に、ドイツ・グラモフォンから 2022 年 11 月に CD2 枚組でリリースされ「完璧なバロック期のクリスマスを耳で体験できる稀有なアルバム」と絶賛されたこちらは、17 世紀前半に宮廷楽長だったクラウディオ・モンテヴェルディの手によって、ヴェネツィアのサン・マルコ寺院で聴かれたかもしれない《クリスマスの挽歌》を再現したものです。マルコンが編纂し、モンテヴェルディに加えてジョヴァンニ・ガブリエーリら同時代の作曲家たちのクリスマス音楽を集め、喜びにあふれた歌と多彩な楽器が組み合わさった音楽集に仕上げられたこのアルバムを、今度は 2024 年 12 月初旬に現地の美しいマルティン教会で撮影された最新映像版でお楽しみください。

演奏:

ラ・チェトラ・バロックオーケストラ・バーゼル、ラ・チェトラ・ヴォーカル・アンサンブル・バーゼル

指揮:

アンドレア・マルコン

曲目:

アンドレア・ガブリエリ 《第 1 旋法によるイントナツィオーネ》

クラウディオ・モンテヴェルディ

《聖母マリアの夕べの祈り》SV 206 より〈神よ、慈悲もてわれらを助けたまえ〉

アンドレア・ガブリエリ 《第 1 旋法によるイントナツィオーネ》

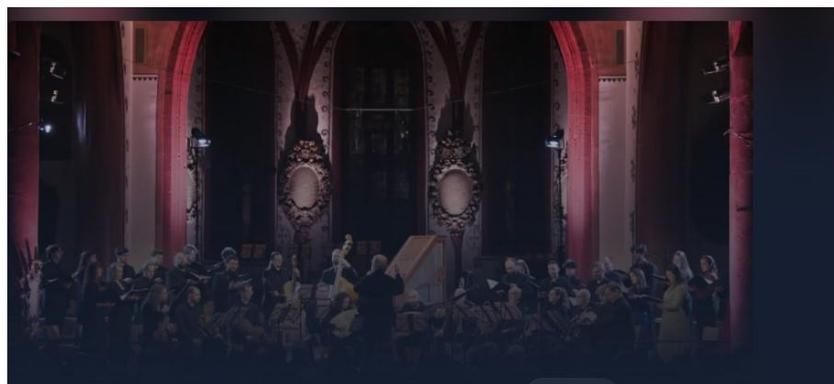
クラウディオ・モンテヴェルディ 詩篇 109 篇《主は言われた》第 2 番 SV 264
アレッサンドロ・グランディ 2 声のモテット集より《O felix, o lucidissima nox》
ジョヴァンニ・ガブリエーリ 《第 11 旋法によるイントナツィオーネ》
クラウディオ・モンテヴェルディ

詩篇 110 篇《主はわが主に言われる》第 3 番 SV 267
フランチェスコ・ウスペル
《コンポジツィオーネ・アルモニケ》 op. 3 より (Sonata a 8 con quattro soprani)
ジョヴァンニ・ガブリエーリ 《第 5 旋法によるイントナツィオーネ》
クラウディオ・モンテヴェルディ

詩篇 111 篇《いかに幸いなことか、主を畏れる人は》第 1 番 SV 268
アレッサンドロ・グランディ 2 声のためのモテット集より《O intemerata》
ジョヴァンニ・ガブリエーリ 《第 2 旋法によるイントナツィオーネ》
クラウディオ・モンテヴェルディ

詩篇 112 篇《主を賛美せよ、しもべたちよ》第 2 番 SV 271
クラウディオ・モンテヴェルディ 《来たれ、汝ら渴ける者よ》 SV 335
ジョヴァンニ・ガブリエーリ 《第 8 旋法によるイントナツィオーネ》
クラウディオ・モンテヴェルディ

詩篇 116 篇《子らよ、主を讃めたたえよ》第 1 番 SV 270
ジョヴァンニ・ガブリエーリ 14 声のソナタ第 18 番
クラウディオ・モンテヴェルディ 《神よ、真心をつくして》 SV 280
ジョヴァンニ・ガブリエーリ 《第 9 旋法によるイントナツィオーネ》
クラウディオ・モンテヴェルディ マニフィカト第 1 番 SV 281
ジョヴァンニ・ガブリエーリ 《第 10 旋法によるイントナツィオーネ》
クラウディオ・モンテヴェルディ カンターテ・ドミノ SV 293



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用して

います。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続しています。

モンテヴェルディやガブリエーリなどイタリアバロックの初期のクリスマスにちなんだ挽歌を選抜した演奏で、後期のバロックと一味違った和声が聴けます。

アーチリュート他、古楽器の質感もしっかり聴き取れ、ソリスト達や合唱陣の歌唱は豊かな残響を伴い、通奏低音やオルガンも明瞭で、おごそかな宗教音楽の雰囲気に入れます。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G も使用した結果、イタリアバロックの初期の宗教音楽の雰囲気味わえました。

以上